



岐阜大会を終えて

全国肢体不自由養護学校PTA連合会
会 長 江 本 緑
(東京都立光明養護学校PTA会長)

平成 18 年度全国肢体不自由養護学校 PTA 連合会総会においてご承認を頂き、新会長に就任致しました。全国の肢体不自由養護学校の PTA の代表である職務に、責務の大きさと重さを感じております。これからも子ども達の学校生活がより充実したものになるよう、皆様のご理解、ご協力のもと会長を務めて参りたいと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、総会と同日に第 49 回全国肢体不自由養護学校 PTA 連合会総会および PTA・校長会合同研究大会「岐阜大会」が 8 月 21・22 日の両日、岐阜県岐阜市にて開催されました。

大会は研究主題「21 世紀に生きる子どもたちの、生きがいと自立を支える特別支援教育・肢体不自由教育および社会づくりの推進のため、PTA 活動はどうあればよいのか」のもと、分科会・シンポジウムを行いました。

平成 19 年度は結成 50 周年記念大会になりますので、今年の「岐阜大会」では「記念鼎談」を設けまして、全国肢体不自由養護学校 PTA 連合会、第 4 代会長を務められた埜野兪様、独立行政法人国立特殊教育総合研究所前理事長(文部科学省、元特殊教育調査官)細村迪夫様、全国特別支援教育推進連盟理事長(全国肢体不自由養護学校長会元会長)の三浦和様のお三方に、PTA 活動の歴史と肢体不自由教育の歴史についてお話を頂きました。これは来年の 50 周年記念大会を迎えるにあたり意義深いものとなりました。

今年の大会より、分科会はテーマを明確に「子どもたちをとりまくネットワーク」とし、「学校」「地域」「福祉」「労働」「医療」「機器」の 6 つに別れ、活発な意見交換が

行われました。指導・助言者には各分野のご専門の先生方をお願い致しました。特に厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課の障害福祉専門官 茅根孝雄様には第 3 分科会「福祉」をご担当いただき、同じく厚生労働省職業安定局高齢・障害者雇用対策障害者雇用対策課の障害者雇用専門官 市川浩樹様には第 4 分科会「労働」をお願い致しました。これも本大会が全国大会として 49 回積み上げて参りましたものと受け止めております。

また、シンポジウムでは引き続き特別支援教育を踏まえ、岐阜の保護者から、教育・福祉・就労について、それぞれの思いを発表して頂きました。それを受けて、シンポジストの文部科学省初等中等教育局特別支援教育課の特殊教育調査官の下山直人様と厚生労働省のお二方からは国の動向を踏まえたコメントを頂きました。合わせてフロアからのご質問やご意見などを受け、時間いっぱいお話が出来ましたことをご報告申し上げます。(詳細は 12 月に配布の《岐阜大会報告集》を参照)

この大会を通して、学校教育法の一部改正、障害者自立支援法の施行、などの新しい動きの中で、私たち保護者も改めて役割を考え、子ども達をとりまくネットワークを広げ、子ども達一人ひとりが自分らしく生きていくことのできるよう、努力して参りたいと思いました。

最後になりましたが、この全国大会を開催するにあたり、中部ブロックをはじめ、大会運営にあられた主管校の岐阜県立関養護学校ならびに岐阜県立希望が丘養護学校の保護者の皆様と教職員の皆様、岐阜県関係者の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。有難うございました。

第49回(平成18年度) 総会報告

平成18年8月21日(月)、岐阜県長良川国際会議場メインホールにて、全国肢体不自由養護学校PTA連合会・校長会合同研究大会「岐阜大会」の開催と共に、平成18年度全肢P連総会が行われました。提案された議題は総て承認されましたので、以下の通り報告いたします。

(司会 本部事務局長 佐竹京子)

1. 会長挨拶

全肢P連会長 (東京都立小平養前P会長)
木村知鶴

2. 新加入PTA紹介等

本部事務局長 佐竹京子

3. 議長選出

中部地区 愛知県立豊橋養P会長
小久保真由美
近畿地区 川西市川西養P会長
松原洋子

4. 議事

- (1) 平成17年度事業報告
全肢P連会長 木村知鶴
- (2) 平成17年度会計決算報告
本部事務局長 佐竹京子
- (3) 平成17年度会計監査報告
監事 (東京都立府中養P会長)
高橋史
- (4) 全国肢体不自由養護学校PTA連合会会長退任の挨拶
木村知鶴
- (5) 平成18年度役員紹介及び承認
全肢P連会長 木村知鶴
- (6) 平成18年度役員代表 新会長挨拶
全肢P連会長 江本緑
(平成18年度全肢P連新会長 東京都立光明養護学校P会長)
- (7) 平成18年度事業計画(案)
全肢P連会長 江本緑
- (8) 規約改正について
全肢P連会長 江本緑
- (9) 平成18年度会計予算(案)
本部事務局長 佐竹京子
- (10) 表彰者・顧問の推薦と確認
全肢P連会長 江本緑

5. 議長解任

6. 感謝状贈呈

全国肢体不自由養護学校PTA連合会 前会長
(東京都立小平養護学校 前PTA会長)
木村知鶴様
全国肢体不自由養護学校PTA連合会 前副会長
中根登紀子様
(平成18年度 第48回全肢P連埼玉大会実行委員長)
全国肢体不自由養護学校PTA連合会 前本部事務局長
津久井孝子様

平成17年度事業報告

1. 役員会の開催

第1回役員会

平成17年8月21日(日)
於：大宮ソニックシティ
(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)

●主な審議事項

- (1) 平成16年度事業報告、決算報告、監査報告
- (2) 平成17年度役員案
- (3) 平成17年度事業計画案、予算案
- (4) 表彰者の確認および顧問の推薦
- (5) 埼玉大会決議文(案)
- (6) 次期全国大会(岐阜大会)について

第2回役員会

平成18年1月23日(月)
於：東京都立小平養護学校アリーナ

●主な審議事項

- (1) 「埼玉大会」報告
- (2) 平成17年度事業・会計中間報告
- (3) 「岐阜大会」の実施計画と役割分担について
- (4) 平成18年度事業計画案・会計予算案について

2. 総会の開催

平成17年8月22日(月)
於：大宮ソニックシティ

●主な審議・承認事項

- (1) 平成16年度事業報告、決算報告、監査報告の承認
- (2) 平成17年度役員承認
- (3) 平成17年度事業計画案、予算案の承認
- (4) 表彰者の紹介および顧問の承認
- (5) 感謝状の贈呈

3. 平成17年度 第48回全国肢体不自由養護学校PTA連合会総会及びPTA・校長会合同研究大会「埼玉大会」の開催

平成17年8月21日(日)～23日(火)

於：大宮ソニックシティ
主 題 『21世紀に生きる子どもたちの、生きがいと自立を支える特別支援教育・肢体不自由教育および社会づくりの推進のため、PTA活動はどうあればよいか』

(1) 分科会

- 第1分科会 「学校との連携」
- 第2分科会 「地域との連携」
- 第3分科会 「進路確保A(地域・施設等)」
- 第4分科会 「進路確保B(就労・進学等)」
- 第5分科会 「機器の利用」
- 第6分科会 「医療との連携」

(2) 講話

テーマ『特別支援教育の動向と肢体不自由養護学校の課題』

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

特殊教育調査官 下山直人氏

(3) シンポジウム

「乳幼児期から学校卒業まで、共に学び共にくらす社会をめざす一貫した支援を求めて」

—教育、医療、福祉、労働の連携の在り方—

【コーディネーター】

前埼玉県特殊学校長会会長 林 功 氏

【シンポジスト】

埼玉県特別支援教育課ノーマライゼーション教育推進担当 主任指導主事 宇田川 和 久 氏
社会福祉法人毛呂病院光の家施設庁

丸 木 和 子 氏

埼玉県立熊谷養護学校教諭 野 村 春 文 氏

埼玉県立越谷養護学校PTA 宮 尾 公 望 氏

【テーマアドバイザー】

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特殊教育調査官 下 山 直 人 氏

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 障害福祉専門官 渡 邊 雅 浩 氏

厚生労働省職業安定局高齢・障害者雇用対策部障害者雇用対策課

障害者雇用専門官 小 嶋 文 浩 氏

(4) 全体講評

全国特別支援教育推進連盟

理事長 三 浦 和 氏

4. 会報の発行

- (1) 第74号 会報 平成17年7月15日 20,000部発行
- (2) 第75号 会報 平成17年10月15日 20,000部発行
- (3) 第76号 会報 平成17年12月15日 10,000部発行
＜全国大会（埼玉大会）特集号＞

5. 全国心身障害児福祉財団事業

【国庫補助事業】

《保護者研修会》

- 関東・甲越ブロック 埼玉県立越谷養
「特別支援教育の動向と肢体不自由教育」
8月21日(月) 977人

- 北海道・東北ブロック 秋田県立秋田養
「子育てを考える～大人になるわが子を見つめながら～」
9月9日(金) 42人

- 東京都 東京都立町田養
「身近にあって知られざる美しい花～医療的ケアを必要とする子～」
10月17日(月) 129人

《ボランティア研修会》

- 関東・甲越ブロック 東京都立八王子東養
「肢体不自由児のボランティアのあり方」
8月25日(木) 116人

- 中部ブロック 三重県立草の実養
「望まれる介助、介護のあり方」
8月26日(金) 71人

《在宅重度障害児集団事業》

- 中部ブロック 愛知県立港養
① 「正しい姿勢の保持について」
② 「この子たちの目ざす将来」
～親は今何をすべきか～
③ 「音楽療法による心身のリラクゼーション」
10月22日(土)～8月23日(日) 43人

- 近畿ブロック 明石市立明石養
「集団集中動作学習による動作能力の向上と改善」
8月2日(火)～8月3日(木) 98人



岐阜大会開会式

平成 17 年度 会計決算報告

<収 入>

単位 円

項 目	17 年度予算	17 年度決算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	375,962	375,962	
会 費	5,938,450	5,938,450	350 円×16,967 人 在籍児童生徒数 (分担金)
日本自転車振興会補助金	859,000	859,000	日本自転車振興会補助金 (会報第 76 号大会号 1,146,600 円の中の補助分)
国庫補助事業費	1,390,000	1,390,000	保護者研・ボランティア研・在宅重度障害児集団療育
社会福祉医療機構助成費	0	0	平成 17 年度は事業実施無し
寄 付 金	74,349	74,349	前事務局長より
雑 収 入	400,000	421,062	保険手数料、オムツ手数料、利子等
合 計	9,037,761	9,058,823	

<支 出>

項 目	17 年度予算	17 年度決算	摘 要
会 議 費	400,000	332,734	大会 20 万円、役員会 5 万円×2、その他会議室代等
研 修 費	750,000	757,050	大会 50 万、事務局大会参加費、関係団体研修等
会 報 費	2,000,000	1,951,350	74 号・75 号・76 号 (1,146,600 円)
関係団体分担金	136,000	136,000	推進連盟 91,000 円、美術展 40,000 円、日肢教研 5,000 円
渉 外 費	50,000	47,150	他団体祝金、周年行事出席、香典等
地 区 助 成 費	420,000	420,000	70,000 円×6 ブロック
交 通 費	250,000	226,490	会長・事務局員大会参加費、一般交通費、会長他大会参加費
通 信 費	650,000	693,432	電話代、郵券、会報郵送費、会費振込み代、宅急便代
事務局運営費	2,480,000	2,327,768	事務所用料、事務局員給料、かたつむり派遣等支払い
国庫補助事業費	1,390,000	1,390,000	保護者研・ボランティア研、在宅重度障害児集団療育
社会福祉医療機構助成費	0	0	平成 17 年度は実施なし
事務用品費	150,000	158,485	封筒、消耗品、一般文書印刷等
備 品 費	80,000	78,441	パソコン関連等
雑 費	30,000	33,789	貸し金庫使用料等
予 備 費	51,761	13,000	辻村賞を祝う会費
50 周年用別会計	200,000	200,000	50 周年記念大会口座へ
次 年 度 繰 越 金	0	293,134	
合 計	9,037,761	9,058,823	

国庫補助事業費内訳

項 目	16 年度予算	16 年度決算	適 用	
国庫補助事業	保護者研修会	30,000	30,000	全国大会 (埼玉) 埼玉県立越谷養
		30,000	30,000	北海道・東北ブロック 秋田県立秋田養
		30,000	30,000	東京 東京都立町田養
	ボランティア研修会	50,000	50,000	関東・甲越ブロック 東京都立八王子東養
		50,000	50,000	中国ブロック 三重県立草の実養
		400,000	400,000	中部ブロック 愛知県立港養
	在宅重度障害児 集団療育事業	400,000	400,000	近畿ブロック 明石市立明石養
		400,000	400,000	中国・四国ブロック 愛媛県立第一養
		400,000	400,000	
合 計	1,390,000	1,390,000		

特 別 会 計

平成 19 年度 50 周年記念大会のための積み立て	平成 15 年 3 月 27 日	200,000 円
利息	平成 16 年 2 月 23 日	1 円
平成 19 年度 50 周年記念大会のための積み立て	平成 16 年 3 月 18 日	200,000 円
利息	平成 16 年 8 月 23 日	1 円
平成 19 年度 50 周年記念大会のための積み立て	平成 17 年 3 月 24 日	200,000 円
平成 19 年度 50 周年記念大会のための積み立て	平成 18 年 3 月 30 日	200,000 円
合 計	計	800,002 円

決 算 報 告

上記のとおり平成 17 年度の収支決算を報告いたします。

平成 18 年 3 月 31 日

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会

会 長 木 村 知 鶴 ㊟

事務局 長 佐 竹 京 子 ㊟

会 計 監 査 報 告

平成 18 年 6 月 5 日 監査を実施した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成 18 年 6 月 5 日

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会

監 事 土 井 富 夫 ㊟

監 事 高 橋 史 ㊟

- 中国・四国ブロック 愛媛県立第一養
「FBM (ファシリテーション・ボール・メゾット) の
すすめ」

8月10日(水)～8月11日(木) 37人

[社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団主催事業]

《競輪場を利用した地域指導者養成研修会》

- 福島県いわき市 (8/27～28)
- 静岡県伊東市 (9/17～18)
- 三重県松阪市 (9/24～25)
- 京都府向日市 (11/26～27)
- 佐賀県武雄市 (1/14～15)
- 香川県高松市 (2/4～5)

6. 全肢P連結成 50周年記念大会関係

- 全肢P連結成 50周年記念「50年史」編集会議
第1回 5月16日(月)
第2回 8月23日(火)
第3回 10月14日(金)
第4回 4月2日(木)
- 50周年記念大会の打ち合せ 6月23日(木)
於：新宿プリンスホテル
- 近肢P連役員会・全肢P連 50周年記念大会実行委員会へ
参加 7月7日(木)
- 京都市長、京都市教育委員会と京都府教育委員会へご挨拶
ならびに記念大会への協力要請 7月8日(金)
- 全肢P連結成 50周年記念大会用積立金について
* 50周年「京都大会」実行委員会口座へ送金 8月9日(火)

7. 関係団体事業および行事への参加

- (1) 関係各省庁への陳情および会議などへの参加要請
 - 文部科学省へ 4月15日(金)・6月15日(水)・
9月22日(木)
 - 中央教育審議会教員養成部会「特殊教育免許の総合化に
ついて」のパブリックコメントを提出 4月13日(水)
 - 厚生労働省へ 10月4日(火)
- (2) 全国特別支援教育推進連盟理事会および行事への参加
 - 第29回特別支援教育振興協議会(文部科学省共催)へ
の参加 17年12月6日(火)
於：国立オリンピックセンター国際会議室
 - 理事会の開催 第1回 5月17日(火)
第2回 7月4日(火)
第3回 10月4日(火)
第4回 18年2月9日(木)
於：ナーベルお茶の水 会議室
 - 平成18年度特別支援教育関係予算編成等の要望(加盟
団体として推進連盟へ提出)
 - 義務教育国庫負担制度堅持の陳情、全国知事会へ
7月20日(水)
 - 特殊教育就学奨励費制度の堅持及び義務教育費国庫負担
制度の堅持に関する陳情活動
* 特殊教育就学奨励費制度堅持に関する連絡協議会の開
催、10月24日(月)及び署名活動の協力
 - 特殊教育就学奨励費制度堅持に関する陳情のため国会へ
10月26日(水)、11月8日(火)、11月16日(水)

噛みやすい、飲み込みやすい 食品の通信販売をしております。

噛むこと、飲み込むことが苦手な方に

丸のみしてよくむせる方に

食欲不振の方に

はっらっ



こんな商品が
あります

- ・食べ物や飲み物に混ぜるだけで簡単にトロミをつけられる増粘食品
- ・むせにくいゼリータイプの飲料
- ・通常の食品を食べやすく、飲み込みやすくしたもの
- ・飲んだり、チューブを用いて摂取できる濃厚流動食

カタログをご希望の方は、お電話、FAXにてお問い合わせ下さい。必要部数を送らせていただきます。

ヘルシーネットワーク

株式会社 ヘルシーネットワーク

〒191-0024 東京都日野市万歳寺1-34-3 <http://www.healthynetwork.co.jp>



TEL 0120-236-977 FAX 0120-478-433

- 特殊教育就学奨励費署名提出ならびに陳情へ
11月16日(水)
於：内閣副官房長官室
- 就学啓発冊子「お子さんに合った教育を求めて」の小冊子作成委員の委嘱、編集会議へ参加
17年7月4日(月)・7月25日(月)・8月24日(水)
8月26日(金)・8月30日(火)
- (3) 社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団父母連絡会議等へ参加
 - 父母の会連絡会議 4月7日(木)
 - 平成17年度予算理事・評議員会
3月14日(火)・5月24日(月)
- (4) 社会福祉法人 日本肢体不自由児協会
「第24回日本肢体不自由児・者の美術展」開催への協力
 - 運営委員会 第1回5月18日(水)、第2回9月30日(金)
 - 審査会 10月19日(水)
 - 東京芸術劇場で常陸宮殿下のご臨席のもと表彰状および作品鑑賞 12月1日(木)

【全国肢体不自由養護学校PTA連合会賞の授与】

『書の部』
五石秋歩 広島市立瀬野川東中 中学3年

『絵画の部』
川嶋徹 長崎県立諫早東養 中学1年(敬称略)
- (5) 日本肢体不自由教育研究大会への参加および運営委員として参加
 - 総会及び運営委員会 5月28日(土)
運営委員会 6月25日(土)、7月23日(土)
10月1日(土)、2月17日(土)
平成18年1月14日(土)、3月11日(土)
 - 臨時総会及び運営委員会 2月18日(土)
 - 第29回日本肢体不自由教育研究大会
8月4日(木)～5日(金) 於：タワーホール船堀
- (6) その他
 - 全肢P連全国大会「分科会」のテーマおよび内容の会議
7月19日(火)
 - 故津山直一先生お別れ会 5月8日(日)
 - 全肢P連顧問鈴木盛雄様の葬儀へ
6月23日(木)、6月24日(金)
 - 内閣府主催「障害者週間の集い」へ参加
12月6日(火) 於：有楽町朝日ホール
 - 全国特別支援教育推進連盟三浦和理事長「辻村賞」受賞を祝う会へ参加
平成18年2月4日(土) 於：上野精養軒
- 8. 「全肢P連安心補償制度」加入状況
(制度引受会社 株式会社損害保険ジャパン)
平成17年度加入件数 854件
保険手数料 320,241円
- 9. 紙おむつ団体扱い購入の手数料について
リブドゥコーポレーション 86,803円
大王製紙(セイノー商事) 13,200円
計 100,003円
- 10. 関係友好団体及び各地区主催の地区大会への後援
 - 第38回全国肢体不自由児・者父母の会連合会全国大会(青森大会)
 - 第38回北海道・東北地区肢体不自由養護学校校長・PTA会長合同研究協議会(宮城大会)

- 第43回中部地区肢体不自由教育研究大会(愛知大会)
 - 第28回てんかん基礎講座、第32回社団法人日本てんかん協会全国大会 in 群馬
11. 表彰者の確認と顧問の推薦
- *感謝状
- 全国肢体不自由養護学校PTA連合会
前副会長 伊藤光雄様
(全国肢体不自由養護学校校長会 前会長)
全国肢体不自由養護学校PTA連合会
前副会長 本宿和江様
(第48回全肢P連北海道大会 実行委員長)
全国肢体不自由養護学校PTA連合会
前事務局長 津久井孝子様
- なお、伊藤光雄様は規約の第16条及び細則の第5条(2)、同6条(3)により総会において顧問の承認を得ました。

平成18年度事業計画

1. 総会及び研究大会

平成18年8月20日(日)～22日(火)

於：長良川国際会議場

(岐阜市市長良福光2695-2)

主 題 『21世紀に生きる子どもたちの、生きがいと自立を支える特別支援教育・肢体不自由教育および社会づくりの推進のため、PTA活動はどうあればよいか』

(1) 記念鼎談

《テーマ》 肢体不自由教育の「これまで」と「これから」
全国特別支援教育推進連盟

理事長 三浦和氏
国立特殊教育総合研究所名誉所員

群馬大学名誉教授 細村迪夫氏
全国肢体不自由養護学校PTA連合会

顧問 埜野兪氏
(全国肢体不自由養護学校PTA連合会 第4代会長)

(2) 分科会 「子どもたちをとりまくネットワーク」

第1分科会 「学校」

第2分科会 「地域」

第3分科会 「福祉」

第4分科会 「労働」

第5分科会 「医療」

第6分科会 「機器」

(3) シンポジウム

「保護者から見た特別支援教育への期待と展望」

～国の動向をふまえて～

《コーディネーター》

(全国肢体不自由養護学校校長会 東京都立あきる野学園養護学校校長) 池田敬史氏

《提案者》

岐阜県立関養護学校PTA

岐阜県立岐阜希望が丘養護学校PTA

《シンポジスト》

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

特殊教育調査官 下山直人氏

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課

障害福祉専門官 茅根孝雄氏

厚生労働省職業安定局高齢・障害者雇用対策障害者雇用対策課

障害者雇用専門官 市川浩樹氏

(4) 全体講評

全国特別支援教育推進連盟

理事長 三浦和氏

2. 役員会

(1) 平成18年8月20日(日)

於：長良川国際会議場

(2) 平成19年1月25日(月)

於：東京都立光明養(予定)

3. 会報の発行

(1) 第77号 会報 平成18年7月15日 20,000部発行

(2) 第78号 会報 平成18年10月15日 20,000部発行

(3) 第79号 会報 平成18年12月15日 10,000部発行

<全国大会(岐阜大会)特集号>

4. 全国心身障害児福祉財団事業

【国庫補助事業】

《保護者研修会》

大会

中部ブロック

中国・四国ブロック

岐阜県立関養

高知県立高知若草養

(土佐希望の家分校)

東京都立府中養

東京都

《ボランティア研修会》

北海道・東北ブロック

九州ブロック

札幌市立豊成養

長崎県立諫早養

《在宅重度障害児集団療育事業》

北海道・東北ブロック

関東・甲越ブロック

九州ブロック

青森県立八戸第一養

東京都立光明養

熊本県立松橋養

【社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団主催事業】

《競輪場を利用した地域指導者養成研修会》

《ふれあいの輪をひろげる子どもたちフェスティバル》

5. 関係団体事業および行事への参加

(1) 関係各省庁への陳情および会議などへの参加要請

(2) 全国特別支援教育推進連盟理事会および行事への参加

(3) 社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団父母連絡会議等への参加

(4) 社会福祉法人 日本肢体不自由児協会

「第25回日本肢体不自由児・者の美術展」開催への協力
・運営委員会、審査会への参加ならびに全国肢体不自由養護学校PTA連合会賞の授与

・12月東京芸術劇場で常陸宮殿下のご臨席のもと表彰式および作品鑑賞

(5) 日本肢体不自由教育研究運営委員会および大会

・第30回記念日本肢体不自由教育研究大会

平成18年8月3日(木)～4日(金)

会場：タワーホール船堀

(6) その他

・各地区主催の肢体不自由養護学校PTA連合会・校長会合同研究協議会へ参加

・関係団体の記念行事等の参加

6. 関係友好団体への後援

表彰者の確認と顧問の推薦

感謝状

全国肢体不自由養護学校PTA連合会前会長

(東京都立小平養護学校前PTA会長)

木村知鶴様

第48回全肢P連「埼玉大会」実行委員会委員長

(埼玉県立越谷養護学校PTA会長)

中根登紀子様

顧問の推薦

本会の規約に基づき 木村知鶴様を平成18年8月20日の役員会で顧問に推薦、総会で承認を得る。

全国心身障害児福祉財団事業実施地区割り当て

年 度			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
国庫補助事業	保護者研修会	3回	大会(中部) 中国・四国 東京	50周年記念大会(近畿) 九州 東京	大会(中国・四国) 近畿 東京	大会(九州) 関東・甲越 東京	大会(北海道・東北) 中部 東京
	ボランティア研修会	2回	北海道・東北 九州	近畿 中国・四国	関東・甲越 中部	北海道・東北 九州	近畿 中国・四国
	在宅重度障害児集団療育事業	3回	北海道・東北 関東・甲越 九州	中部 近畿 中国・四国	北海道・東北 関東・甲越 九州	中部 近畿 中国・四国	北海道・東北 関東・甲越 九州

*当該年度の事業のブロック別分担は、定められた順番で進められており、ブロック毎に担当の学校を4月中旬頃に決定し、各ブロック事務局より本部事務局へ連絡をお願いしています。(財団へ提出する書類が5月中です)。

平成 18 年度 会 計 予 算

<収 入>

単位：円

項 目	17 年度予算	18 年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	375,962	293,134	
会 費	5,938,450	5,996,550	350 円×17,133 人 在籍児童生徒数（分担金）
日本自転車振興会補助金	859,000	859,000	日本自転車振興会補助金（会報第 79 号大会号 1,146,000 円の中の補助分）
国 庫 補 助 事 業 費	1,390,000	1,390,000	別掲内訳
社会福祉医療機構助成費	0	0	平成 18 年度は実施予定はありません
寄 付 金	74,349	0	
雑 収 入	400,000	400,000	保険手数料、オムツ手数料、利子等
合 計	9,037,761	8,938,648	

<支 出>

項 目	17 年度予算	18 年度予算	摘 要
会 議 費	400,000	400,000	大会 20 万円、役員会 5 万円×2、その他会議室代等
研 修 費	750,000	750,000	大会 50 万円、事務局大会参加費、関係団体研修等
会 報 費	2,000,000	2,000,000	77 号、78 号会報代、79 号会報代 1,146,600 円
関係団体分担金	136,000	139,000	推進連盟 91,000 円、美術展 40,000 円、日肢教研 8,000 円
渉 外 費	50,000	50,000	他団体祝い金、周年行事出席、香典等
地 区 助 成 費	420,000	420,000	7 万円×6 ブロック
交 通 費	250,000	350,000	会長・事務局員大会参加費、一般交通費、会長他大会参加費
通 信 費	650,000	650,000	電話、郵券、会報郵送費、会費振込み代、宅急便代
事 務 局 運 営 費	2,480,000	2,480,000	事務所使用料、事務局員給料、<かたつむり>派遣支払い
国 庫 補 助 事 業 費	1,390,000	1,390,000	別掲内訳
社会福祉医療機構助成費	0	0	平成 18 年度は実施予定はありません
事 務 用 品 費	150,000	180,000	封筒、消耗品、一般文書印刷等
備 品 費	80,000	50,000	パソコン関連等
雑 費	30,000	30,000	貸し金庫使用料等
予 備 費	51,761	49,684	
50 周年用別会計	200,000	0	50 周年記念大会口座へ
合 計	9,037,761	8,938,648	

国庫補助事業費内訳

	項 目	17 年度予算	18 年度予算	適 用
国庫補助事業	保 護 者 研 修 会	30,000	30,000	全国大会（中部） 岐阜県立関養
		30,000	30,000	中部・四国ブロック 高知県立若草養・土佐希望の家分校
		30,000	30,000	東京 府中養
	ボランティヤ研修会	50,000	50,000	北海道・東北ブロック 札幌市立豊成養
		50,000	50,000	九州ブロック 長崎県立諫早東養
	在 宅 重 度 障 害 児 集 団 療 育 事 業	400,000	400,000	北海道・東北ブロック 青森県立八戸第一養
		400,000	400,000	関東・甲越ブロック 東京都立光明養
		400,000	400,000	九州ブロック 熊本県立松橋養
		合 計	1,390,000	1,390,000

平成 18 年度 全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会役員

役職名	氏 名	所 属	ブロック	備 考
会 長	江 本 緑	東京都立光明養護学校 P T A 会長	関 東・甲越	
副 会 長	池 田 敬 史	東京都立あきる野学園養護学校 校長	関 東・甲越	全 肢 長 会 長
〃	東 ま す み	東京都立八王子東養護学校 P T A 会長	関 東・甲越	都 肢 P 連 会 長
〃	中 村 真 理 子	青森県立青森第一高等養護学校 P T A 会長	北 海 道・東 北	ブ ロ ッ ク 長
〃	小 河 美 智 子	横浜市立中村養護学校 P T A 会長	関 東・甲越	ブ ロ ッ ク 長
〃	倉 橋 龍 生	愛知県立岡崎養護学校 P T A 会長	中 部	ブ ロ ッ ク 長
〃	奥 田 和 子	岐阜県立関養護学校 P T A 会長	中 部	大 会 実 行 委 員 長
〃	澤 田 公 美	京都市立呉竹総合養護学校 P T A 会長	近 畿	ブ ロ ッ ク 長
〃	保 住 孝 芳	岡山県立岡山東養護学校 P T A 会長	中 国・四 国	ブ ロ ッ ク 長
〃	狩 生 久 守 実	大分県立別府養護学校 P T A 会長	九 州	ブ ロ ッ ク 長
理 事	江 本 緑	東京都立光明養護学校 P T A 会長	関 東・甲越	
〃	池 田 敬 史	東京都立あきる野学園養護学校 校長	関 東・甲越	
〃	東 ま す み	東京都立八王子東養護学校 P T A 会長	関 東・甲越	
〃	中 村 真 理 子	青森県立青森第一高等養護学校 P T A 会長	北 海 道・東 北	
〃	菊 地 紀 次	青森県立青森第一高等養護学校 校長	北 海 道・東 北	
〃	小 河 美 智 子	横浜市立中村養護学校 P T A 会長	関 東・甲越	
〃	松 崎 紀 一	横浜市立中村養護学校 校長	関 東・甲越	
〃	倉 橋 龍 生	愛知県立岡崎養護学校 P T A 会長	中 部	
〃	小 川 利 雄	愛知県立岡崎養護学校 校長	中 部	
〃	奥 田 和 子	岐阜県立関養護学校 P T A 会長	中 部	大 会 実 行 委 員 長
〃	近 藤 一 郎	岐阜県立関養護学校 校長	中 部	大 会 主 管 校 校 長
〃	澤 田 公 美	京都市立呉竹総合養護学校 P T A 会長	近 畿	
〃	鶴 克 彦	大阪府立岸和田養護学校 校長	近 畿	
〃	小 林 整	京都府立向日が丘養護学校 P T A 会長	近 畿	次 期 大 会 実 行 委 員 長
〃	岩 崎 豊	京都府立向日が丘養護学校 校長	近 畿	次 期 大 会 実 行 委 員 長
〃	保 住 孝 芳	岡山県立岡山東養護学校 P T A 会長	中 国・四 国	
〃	勝 部 肇	島根県立松江清心養護学校 校長	中 国・四 国	
〃	狩 生 久 守 実	大分県立別府養護学校 P T A 会長	九 州	
〃	野 田 宏 道	大分県立別府養護学校 校長	九 州	
評 議 員	小 泉 富 治	北海道真駒内養護学校 P T A 会長	北 海 道・東 北	
〃	佐 藤 健 一	北海道真駒内養護学校 校長	北 海 道・東 北	
〃	國 保 京 子	栃木県立わかくさ養護学校 P T A 会長	関 東・甲越	
〃	諏 佐 収	栃木県立わかくさ養護学校 校長	関 東・甲越	
〃	林 広 二 郎	福井県立福井養護学校 P T A 会長	中 部	
〃	岩 見 良 憲	静岡県立東部養護学校 校長	中 部	
〃	河 辺 久 美 子	大阪府立箕面養護学校 P T A 会長	近 畿	
〃	重 光 豊	京都市立呉竹総合養護学校 校長	近 畿	
〃	野 村 由 紀 子	愛媛県立しげのぶ特別支援学校 P T A 会長	中 国・四 国	
〃	真 鍋 孝 夫	愛媛県立しげのぶ特別支援学校 校長	中 国・四 国	
〃	上 山 哲 郎	鹿児島県立鹿児島養護学校 校長	九 州	
〃	出 来 喬	鹿児島県立鹿児島養護学校 校長	九 州	
監 事	高 橋 史	東京都立府中養護学校 P T A 会長	関 東・甲越	都 肢 P 連 副 会 長
〃	土 井 富 夫	東京都立城北養護学校 校長	関 東・甲越	
事 務 局 長	佐 竹 京 子	全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会事務局内		

全肢P連顧問名簿

氏名	役名
埜野 兪	S 50 年度～S 53 年度 会長（都立光明）
西端 工	S 56 年度～S 57 年度 会長（都立城南）
前田 清	S 58 年度～S 59 年度 会長（都立光明）
高本 和昌	S 63 年度～H 2 年度 会長（都立城南）
永島 弘子	H 3 年度 会長（都立北）
谷口 篤	H 8 年度～H 12 年度 会長（都立北）
佐竹 京子	H 13 年度 会長（国立筑波大附属桐が丘）
村上 節子	H 14 年度～H 15 年度 会長（都立城北）
木村 千鶴	H 16 年度～H 17 年度 会長（都立小平）
早瀬 俊夫	S 47 年度 全肢長会長
中島 秀夫	S 54 年度～S 58 年度 全肢長会長
石川 昌次	S 59 年度～S 60 年度 全肢長会長
三浦 和	S 61 年度～H 元年度 全肢長会長
青柳 勝久	H 4 年度～H 5 年度 全肢長会長
鈴木 峻	H 6 年度～H 8 年度 全肢長会長
林 友三	H 9 年度～H 11 年度 全肢長会長
今里 勉	H 12 年度 全肢長会長
飯野 順子	H 13 年度 全肢長会長
能瀬 廉英	H 14 年度 全肢長会長
伊東 光雄	H 15 年度～H 16 年度 全肢長会長
福地 周一	元今津養護 P T A 会長

西村 悠夫 H 18 年 3 月 8 日ご逝去	S 54 年度～S 55 年度 会長（都立江戸川）
有田 孝 H 16 年 3 月 23 日ご逝去	S 60 年度～S 62 年度 会長（都立大泉）
鈴木 盛雄 H 17 年 6 月 21 日ご逝去	H 4 年度～H 7 年度 会長（都立光明）

**TOTO「バスリフト」は
電動シートが昇降し、
浴槽での立ち座りや
出入りをサポート致します**

TOTOバスリフト

<商品の特徴>

- ①浴槽での立ち座りや出入りをサポートします。電動シート部分が昇降するため、入浴介助の負担も軽減します
- ②本体は浴槽リムに乗せて内側に突っ張るだけなので簡単に取り付けられます
- ③シートは着脱できますので、ご家族の入浴にも差し支えありません



希望小売価格：¥298,000（税込み¥312,000）

- 商品情報、お近くのショールーム情報などは
TOTO ホームページをご覧ください

<http://www.toto.co.jp/>

- 商品のお問い合わせ・ご相談はお客様相談室へ
フリーダイヤル 0120-03-1010

受付時間：平日 9:00～18:00
土日祝日 10:00～18:00

※夏期休暇・年末年始を除く

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会規約

第一章 名 称

第1条 この会は全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会といい、事務所を当分の間次の定める場所におく。
東京都新宿区西早稲田2丁目2番地8号
社会福祉法人全国心身障害児福祉財団

第二章 目的及び活動

第2条 この会は肢体不自由養護学校 P T A 相互の協調をはかるとともに、全国における肢体不自由教育の向上発展を促進することを目的とする。

第3条 この会は前条の目的をとげるために次の活動をする。

1. 各単位 P T A の連絡、協調につとめ、会員相互の親睦を図る。
2. 肢体不自由者の福祉増進につとめる。
3. 肢体不自由教育の発展向上を促進する。
4. 肢体不自由教育費を拡充することにつとめ、またこの教育に関する諸法規の整備に協力する。
5. その他この会の目的を達するために必要な活動をする。

第三章 方 針

第4条 この会は教育を本旨とする民間団体であって、次の方針に従って活動する。

1. この会の目的を達するために、他の団体及び機関と協力する。
2. 特定の政党や派にかたよることなく、またもっぱら営利を目的とするような行為は行わない。

第四章 構 成

第5条 この会の会員は全国の肢体不自由養護学校の単位 P T A とする。

第6条 この会を構成する単位 P T A は分担金を納めるものとする。

第7条 この会を構成する単位 P T A は平等の義務と権利を有する。

第五章 役 員

第8条 この会に次の役員を置く。

1. 会 長 1名

1. 副会長 若干名
1. 理 事 19名以内
1. 監 事 2名
1. 評議員 12名

第9条 会長および副会長は理事会において互選し総会の承認を受ける。

第10条 理事は各ブロックの会員の推薦により各2名宛選出する。
但し、ブロックに関係なく在京の会員より1名、大会開催関係都道府県より4名以内を選出する。

第11条 評議員は、各ブロックの会員の推薦により2名宛選出する。

第12条 監事は理事、評議員以外の会員中より総会において選出する。

第13条 役員は任期は1年とする。但し、重任を妨げない。

第14条 役員は次の通りとする。

1. 会長は本会を代表し、会務を総覧する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。
3. 理事は会長・副会長を補佐し、会務を処理する。
4. 評議員はこの会の重要事項を審議する。
5. 監事はこの会の経理を監査する。

第15条 この会に事務局を設ける。事務局は、事務局長・庶務・会計各1名をもって構成し、人事は理事会にはかり、会長が委嘱する。

第16条 理事会の推薦により顧問をおくことができる。

第六章 会 議

第17条 総会はこの会の最高決議機関であり、事業報告・決算の承認、事業計画・予算の審議及び承認、役員承認ならびに規約の改正、その他重要事項を審議する。

第18条 総会は、定期総会及び臨時総会とする。
1. 定期総会は毎年1回開催する。
2. 会長が必要と認めるとき、または会員の1/3以上の要求があったとき臨時総会を開く。

第19条 総会は会員の過半数の出席を以て成立

し、決議は出席者の2/3以上の同意を必要とする。

第20条 理事会は必要に応じて開き、会長はこれを招集する。

第21条 理事会は、次のような会務を処理する。
1. 本会の重要事業を企画審議する。
2. 総会に提出する報告書の議案を作成する。
3. その他事業の推進に関すること。

第22条 評議員会は必要に応じ随時開き、会長はこれを招集する。

第23条 評議員会は次のような事項を審議する。
1. 総会及び理事会から委嘱された事項の審議。
2. その他必要な事項。

第七章 経 理

第24条 この会の経費は分担金、寄付金及びその他の収入によって支弁する。

第25条 単位 P T A の分担金は、別に定める規定により毎年5月に納入する。

第26条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

第八章 付 則

第27条 この規約は総会の議決を経なければ変更することはできない。

第28条 この会の運営に関しては、別に細則を定める。

第29条 本規約は昭和40年5月25日より実施する。

第30条 本規約は昭和50年8月21日より一部改正する。
本規約は昭和60年8月23日より一部改正する。

本規約は昭和61年8月27日より一部改正する。

本規約は平成元年8月24日より一部改正する。

本規約は平成4年8月21日より一部改正する。

本規約は平成6年8月23日より一部改正する。

本規約は平成18年8月21日より一部改正する。

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会細則

第1条 規約第25条に定める単位 P T A の分担金は、当分の間児童生徒一人あたり、年額350円の割とする。
但し、特別の事情のある場合は免除又は減額することができる。

第2条 当分の間、ブロックは次の通りとする。「北海道・東北」「関東・甲越」「中部」「近畿」「中国・四国」「九州」

第3条 各ブロックより選出される理事及び評議員は、それぞれ父母側1名、教師側1名とする。

第4条 本会と緊密な関わりのある関係諸団体など、または、個人に対する慶弔または志寸などは、その都度、会長が副会長および事務局長にはかり決定する。

第5条 規約第16条における顧問は、原則と

して次の基準によって推挙するものとする。

- (1) 本会の会長歴任者
- (2) 全国肢体不自由養護学校長会長歴任者
- (3) その他、役員会が推薦するもの

第6条 本会は総会において次の表彰を行う。

- (1) 本会の会長が退任したとき(感謝状)
- (2) 本会ならびに全国肢体不自由養護学校長会合同研究大会(全国大会)開催主管校の P T A 会長(感謝状)
- (3) 全国肢体不自由養護学校長の歴任者が、本会の副会長を退任したとき
- (4) その他、役員会が推薦するもの

第7条 本細則は昭和40年5月25日より実施する。

第8条 本細則は昭和53年8月8日より一部改正する。
本細則は昭和55年8月21日より一部改正する。

本細則は昭和56年8月27日より一部改正する。

本細則は昭和61年8月27日より一部改正する。

本細則は平成2年8月23日より一部改正する。

本細則は平成8年8月22日より一部改正する。

大会決議文を国の関係機関に提出

9月21日(木)に、江本緑全肢P連新会長(東京都立光明養護学校PTA会長)と池田敬史全肢長会長(東京都立あきる野学園養護学校校長)と佐竹事務局長とで、文部科学省初等中等局特別支援教育課へ岐阜大会の後援ならびにご出席のお礼を兼ねて、「全国大会決議文」をお届け致しました。下山直人調査官のご配慮により、特別支援教育課の萩明課長補佐に江本緑会長より直接、お渡しすることが出来ました。なお、萩課長補佐には次年度の結成50周年記念「京都大会」での準備等をご説明させて頂き、記念大会へのご協力をお願い申し上げます。

また、同日、厚生労働省社会・援護局障害福祉課へお伺いし、9月1日付けで赴任された蒲原基道課長に茅根孝雄専門官からご紹介頂きまして、決議文の要望内容等もお話しました。同じく、職業安定局障害者雇用対策課では市川浩樹専門官から土屋喜久課長にご紹介を頂きまして、大会決議文をお渡し致しました。

そして、全国特別支援教育推進連盟の第三回理事会では江本緑会長から岐阜大会への三浦和理事長のご出席のお礼と第49回全肢P連「岐阜大会」開催の報告を致しました。

決議文

21世紀の我が国の障害者施策は、平成14年12月24日に閣議決定された「障害者基本計画」に基づく新障害者プランにより整備が進んでいるところである。

昨年12月には中央教育審議会答申「特別支援教育を推進するための制度の在り方について」が示され、それらの提言を踏まえ、本年6月15日に衆議院本会議において「学校教育法の一部を改正する法律案」が全会一致で可決・成立した。これにより60年の歴史を積み上げた「特殊教育」は「特別支援教育」へと質的転換を図ることとなった。また、来年4月からは盲聾養護学校は障害種別に捉われない「特別支援学校」となり、その専門性を基盤として、地域の幼・小・中・高の各学校に在籍する障害や困難のある児童生徒への支援を担う役割も付託された。

さらに、本年4月には「障害者自立支援法」が施行され、障害児・者やその家族ならびに関係者は現在、実施に伴う様々な諸課題に直面している状況にある。これからは、子ども達を取りまく、教育・福祉・労働・医療等、関係機関と私たちが強固なネットワークを構築し、協働して「個別の支援計画」を策定するとともに障害のある者となない者が互いに支え合う共生社会を目指して、これまで以上の理解啓発・充実に努める必要がある。

この度、全国肢体不自由養護学校PTA連合会ならびに全国肢体不自由養護学校長会は8月21日・22日の両日、岐阜県においてPTA・校長会合同研究大会『岐阜大会』を開催し、「21世紀に生きる子どもたちの、生きがいと自立を支える特別支援教育・肢体不自由教育および社会づくりの推進のため、PTA活動はどうあればよいか」を主題に研究協議を重ねた。

本大会の総意をもって、PTA会員ならびに校長は次の事項の実現に向けて、関係各方面に諸問題への啓発と解決に積極的に働きかけることを決議する。

- 一 乳幼児期から生涯に渡り、教育・福祉・医療・労働等の各関係機関は児童生徒の一人一人のニーズに応じた「個別の支援計画」を策定し、計画の実施、評価を通して、多様化する障害や重度重複化に対応する特別支援教育の充実を促進する。
- 一 肢体不自由校が担っていた教育の専門性をさらに高め、地域のセンター校として、そのニーズを把握し、自立活動等のノウハウを生かした指導や相談機能体制等を促進する。
- 一 医療的ケアを必要とする児童生徒の安全・衛生面の管理、及び「盲・聾・養護学校における医療的ケア実施体制整備事業」を踏まえた体制整備を保護者の理解・協力のもとに促進する。
- 一 情報機器(パソコン等)の整備と機器の開発(ソフトウェアを含む)および肢体不自由児・者のためのコミュニケーション支援・就労支援など機器を活用したIT指導の充実を図る。
- 一 障害のある児童生徒が等しく教育を受ける権利を確立するために、義務教育国庫負担制度及び就学奨励費制度とその財源の確保を堅持する。
- 一 障害のある者が社会参加や自立生活が出来るよう、「障害者自立支援法」に基づく福祉制度の充実と利用者本位の福祉サービス等の環境の整備を図る。

平成18年8月22日

全国肢体不自由養護学校PTA連合会
全国肢体不自由養護学校長会

具体的要望事項

1. 乳幼児期から学校卒業後まで「教育・福祉・医療・労働」の一貫した支援体制の促進
 - 養護学校が地域において、小・中学校等に対する教育等の支援、および多様なニーズに対応する特別支援教育のセンター的機能を促進してください。
 - 養護学校が地域において、「特別支援学校」として小・中学校等に対する教育等の支援、および多様なニーズに対応できるようセンター的機能を整備してください。
 - 教育と福祉、医療機関との連携を図り、連携を促進するために文部科学省と厚生労働省との枠を超えた協議を継続してください。

- 盲聾養護学校における医療的ケア実施体制整備事業を踏まえた体制整備（厚生労働省、平成16年10月通知）を保護者の理解・協力のもとに促進してください。
- 障害のある子ども達と障害のない子ども達が居住地での交流を通して共に理解し育成の向上となる機会を促進してください。
- 障害のある子ども達が安心して通学でき、学校行事等へ参加出来るように就学奨励費制度の堅持と財源の確保に努めてください。

2. 児童生徒の障害の重度重複化等に対応する教育的支援体制の整備・充実

- 教員、保護者および関係機関の共通理解のもとで「個別的教育支援計画」を作成し、一人一人のニーズに応じた指導を進めてください。
- 医療的ケアを必要とする児童生徒のために指導体制を確保し、看護師と教員が保護者との共通理解のもとに協働して実施できる環境をさらに整備してください。
- 肢体不自由児の特化した個々のニーズに対応できる専門性のある教員の育成と配置、ならびに特別支援教育の免許状保有率の向上を促進してください。
- 独立行政法人国立特殊教育総合研究所における肢体不自由教育の専門的な研修等を積極的に推進し、特別支援教育コーディネーターの資質の確保と教員の専門性・資質の向上

を図ってください。

- 最新情報技術（IT）を活用し、授業に役立つ学習指導や生活の質（QOL）の向上につながるように情報機器（パソコン等）の整備と肢体不自由児・者が使える機器（ソフトウェアを含む）の開発および指導員の育成を継続してください。
- 養護学校高等部の設置促進、および養護学校訪問教育を整備、充実してください。

3. 児童生徒の社会参加と自立支援の促進

- 卒業後の自立や社会参加に向けて「個別の移行（就労）支援計画」を作成し、肢体不自由者の就労が実現するような教育・労働関係機関等が連携した就業支援を促進してください。
- 社会参加や自立生活がしやすいように「障害者自立支援法」を見直し、地域生活を支える障害福祉サービスを利用する障害児・者ならびに家族の経済的負担を軽減してください。
- 重症心身障害児・者の通所・通園事業を促進し、医療的ケアの必要な障害児・者も地域で生活出来るよう、サービス事業を整備してください。
- 公共の施設において障害のある者もない者も施設を利用しやすいようにバリアフリー化に向けた具体的な施策を促進してください。

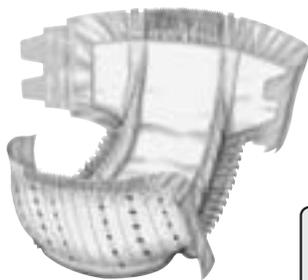
リブドゥ テープ止めタイプ ジュニア

ベビー用より大きく大人用より小さいサイズ

スキマのモレをガードします

ヒップサイズ

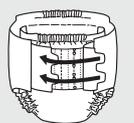
50cm~80cm



- 身体の丸みにあわせたカタチ
- 左右に広げた立体ギャザー
- 前後のしっかりガードギャザー
- 強度のある粘着テープ

優れたポイント

ヒップサイズが小さい方には、白いテープの上に重ねてつけられるので、より身体にフィットします。



消臭ポリマー配合

リブドゥ はくパンツ 男女兼用 ジュニア

ベビー用より大きく大人用より小さいサイズ

やわらかくはきやすい

ウエストサイズ

45cm~60cm



- ゆったりソフトギャザー
- 股下すっきり
- 横モレ防止ギャザー
- 全面通気性シート
- 前後がわかりやすい

消臭ポリマー配合

サンプル請求／宅配購入を、ご希望の場合は まごころサポート フリーダイヤル **0120-062-055**

お申し込みの際「養護学校生」とお伝えください。

●テープ止めタイプジュニア1袋(34枚入)…2,780円 ●はくパンツジュニア1袋(24枚入)…1,980円 ※いずれも消費税込み

商品、試供品に関するお問い合わせは(株)リブドゥコーポレーション マーケティング部 フリーダイヤル:0120-271-361



株式会社リブドゥコーポレーション 〒541-0048 大阪市中央区瓦町1丁目6番10号

『50周年記念京都大会』に向けて

近畿地区肢体不自由養護学校PTA連合会
会長 澤田公美
(京都市立呉竹総合養護学校PTA会長)

古い歴史を持ちながら、常に新しさを取り入れてきた「京都」で、平成19年度全国肢体不自由養護学校PTA連合会・校長会合同研究大会の『50周年記念大会』が開催されます。30周年と40周年の記念大会は東京で開催されてきましたが、平成13年度末の全国役員会にて、



夏の清水寺(国宝)

(IPA「教育用画像素材サイト」より)

現行の開催順に従い近畿ブロックでの開催について打診があり、近畿の役員会で協議の結果、京都で開催することとなりました。

これを受けて、近畿ブロックでは平成14年度より、京都大会へ向けて積立を始めましたが、同時に全肢P連本部、各ブロックにおいても積立をしていただいているところです。そして、平成16年度には準備委員会を立ち上げ、会場の下見や諸々の検討を重ねた結果、「ウェスティン都ホテル京都」に決定し、日程も平成19年8月19日より21日までの三日間をフルに使うプログラムで準備を進めてきました。さらに、平成17年度より実行委員会を立ち上げ、京都市立・市立の学校から校長先生、PTA会長等が集まり、より具体的な内容の準備を進めています。



ウェスティン都ホテル京都

という思いを、なごやかな会の中で確かめ合いました。近畿ブロックの役員会でも、今年度は例年より回数を増やして準備に当たっています。

岐阜大会後の実行委員会では、大会を振り返り気付いたことや、来年度に注意した方がよい事など話し合いました。岐阜大会直後とあって、「来年度大変だぞ」という思いを皆がひしひしと感じていることから、話し合いも具体的で気合が入ってきたように感じます。

さて、京都大会の開催場所である「ウェスティン都ホテル京都」は格式あるホテルです。三条通り「栗田口」の東、洛中を

一望できる東山の山麓に建ち、すぐ北には南禅寺や岡崎公園・平安神宮があります。南へ足を向ければ、青蓮院から祇園八坂神社、そして高台寺から三寧坂を経て清水寺へと続く京情緒あふれる地の利です。交通も地下鉄の駅から2分という便利などところにあり、川床で有名な鴨川へも一駅で行けます。夏の古都の観光もかねて、ぜひ多くの皆様に御参加いただきたくお待ちしています。

ところで、岐阜大会において、各分科会で共通して話題になっていたのが、「地域とのつながり」「特別支援学校への転換」という事であったと思います。障害者自立支援法の施行や学校教育法の一部



南禅寺三門(重要文化財)

改正により、養護学校が大きな転換期をむかえているこの時期に開催される50周年記念大会が、早くから肢体不自由児と知的障害児

が、同じ学校で学んできた京都市立の養護学校や、全国で最初に総合制となった京都市立の総合養護学校のある京都での開催となった事は、大きな意味を持つのではないかと思います。

こうした京都の特色をいかし、分科会・シンポジウム、記念講演など、内容を充実させて皆様をお迎えできるよう、あと一年間、協議を重ね準備を進めていきたいと思います。

岐阜大会の「記念鼎談」では、全肢P連の49年間の歩みを振り返り、長い歴史にふれる事ができました。そして、先生方から、今後の課題についてもお話を聞かせていただきました。50周年と言う一つの区切り、そして新たな出発点としての京都大会。「啓発」という一方通行から、「連携」という双方向へと変わってきた今、これからの地域とのつながりを考え、障害のある子ども達をとりまくネットワークをどうつないでいけるのか、ということを考える大会を作っていきたいと思っています。

全国から『50周年記念京都大会』へ、一人でも多くの会員の皆様にお越しいただけますよう、近畿ブロック役員、並びに実行委員会委員一同心より願っております。

それでは来年度、京都でお会いしましょう。



夏の風物詩・鴨川の川床



全国肢体不自由養護学校PTA連合会結成 50 周年記念
「京都大会」に向けて近畿ブロックでの記念大会実行委
員会の様子、中央で説明しているのが近畿ブロック長
澤田公美さん（京都市立呉竹総合養護学校PTA会長）
《平成 18 年 9 月 8 日撮影》

手のひら全体で握れる。
カバーをつけたまま切れる。
置いたまま切れる。
かわいいデザイン。
切るたびに響くカスタネットの音。



カスタネットはさみ
カラー/ブルー・ピンク・グリーン

1,575 円 (税込)

全長：115mm (カバー含む)
刃長：33mm
重量：55g (カバー含む)

全国肢体不自由養護学校PTA連合会総会およびPTA・校長会合同
研究大会岐阜大会にて展示しました。

自分で切れる喜び

こんな声が届いて
います！

■手に障害を持った方
はじめてはさみを使
うことができました。
自分でできるほど嬉し
いことはありませんね。
安全でデザインもかわ
っています。
■作業療法士
ちょうど握りやすい
大きさと弾力があって
リハビリにピッタリ！
安全性が高いので見て
いる方も安心です。切
るという目的を持てる
こと、切るたびに音
が出る楽しさもありま
すね。

■知的障害施設の方
力がコントロールは
できない人には、は
さみは危なかったの
ですが、カバーがつい
でいるので怪我が付
心配がなくていいの
ですね。
■目の不自由な方
刃先にカバーが付
いているので安心し
て触れることができ
ます。カバーの溝で
刃の位置が確認でき
るので使いやすくて
すね。
■幼児の母親
はじめてはさみを与
えるのにこれなら安
心して見せられます。

お問い合わせ・ご注文はこちらから。全国送料無料。（1個からお届け致します。）

フリーダイヤル

電話 **0120-997-833** (平日AM9:00~PM17:00)

FAX **0120-998-833** (24時間受付)

インターネット通販 刃物市場 <http://www.hamonoichiba.com>

HARAC 株式会社はらく

〒501-3911 岐阜県関市肥田瀬3664番地の2

e-mail: info@hamonoichiba.com

※カスタネットはさみ以外にも多数の商品がございます。

歴史を感じた記念鼎談

今年の岐阜大会では記念鼎談を企画致しました。二人で話し合う場を対談、三人で話し合う場を鼎談と申すのだそうです。

さて、歴史となれば大変古い話になりますが、特殊教育から特別支援教育の転換にあたり、是非、振り返っていただきたいと願っておりましたが、当日まで古い話など全国の皆様に関心があるだろうか、興味や知りたいところとは別なのではないかと、大変気を揉むことばかりでした。

ですが、嬉しい誤算？でしょうか、大変面白かったと保護者の方や教職員の皆様から反響をいただきました。特に教職員の先生方は知らない事ばかりでもっと聞きたかったとおっしゃっていただきました。

これを平成 19 年度の結成 50 周年記念大会「京都大会」に繋げて参りたいと思ひまして、本部でも江本緑新会長を中心に木村知鶴 50 年史編集委員長と記念大会について話し合いをしています。前のページに載っておりますが、近畿ブロックでも実行委員会が行なわれております。今回は近畿ブロック長である澤田公美 P T A 会長（京都市立呉竹総合養護学校）さんに現在のご様子を知らせていただきました。来年度は全県から是非お越しください
《事務局長 佐竹京子》

全国肢体不自由養護学校 P T A 連合会は、昭和 30 年代の頃、障害児を持つ、ひとりの保護者が同じ境遇の親御さんと助け合いたい…と、言った一言からはじまったそうです。

そして、昭和 33 年 3 月全国養護学校長会結成を機に、学校関係者と保護者の願いから P T A 連合体を作る話を取り交わされた。同年 6 月 5 日、神戸市立友生養護学校にて開かれた全国肢体不自由教育研究協議会の折も、各校長から P T A 連合会を至急発足させてほしいと要請がありました。その後、東京市立光明学校（現 東京都立光明養護学校）P T A 会長奈良晃と校長小野勲は、規約案と案内書を作成し全国に発送し、同年、7 月 4 日に結成式が光明学校で行なわれた。

《肢体不自由教育の発展(改正版)参照》

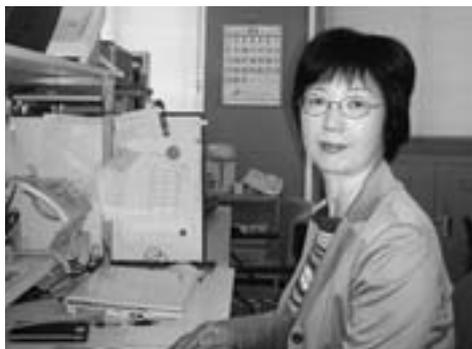
記念鼎談にご出席いただいた埜野兪氏は初代、奈良晃氏（光明学校 P T A 会長）から数えて 4 代目の会長になります。また、三浦和理事長は P T A の歴史を教員時代に準備側で働いたご経験や校長会長としての関わり、そして、現在の全国推進連盟の理事長として、それぞれの立場から見ていらした方になります。

細村迪夫氏は昭和 48 年に養護学校義務制施行の頃に現在の文部科学省で、肢体不自由の教科調査官を担当していた。他にも早くから重度重複の教育を重んじ、国立特殊教育総合研究所の理事長として、同研究所の改革をなされました。

次年度は近畿ブロックにおいて開催される「京都大会」が全肢 P 連結成 50 周年記念大会となります。全国の皆様には一足早く歴史に触れていただきたい。
（当日資料一部抜粋）

《文責 佐竹京子》

事務局員のご紹介



事務局は私が一人である事から、前々からお手伝いの方をお願いしておりましたが、この度、東京都立小平養護学校の保護者の方で工藤明子さんが定期的に来てくださるようになりました。とても優しい方で大変助かっています。

工藤さんには主に会計や庶務をお願いする事になります。以前から事務局のお手伝いをしてくださっている、ワークショップかたつむり（小規模作業所）の指導員で P C メンテナンスを主にお願ひしている坂井譲治君、共々どうぞ宜しくお願い致します。《事務局長 佐竹京子》

編集後記

第 49 回全肢 P 連「岐阜大会」が皆様のお陰で盛会のうちに終える事が出来ました。事務局はただいま次期開催の全肢 P 連結成 50 周年記念「京都大会」の準備等に追われ、て、おります。

なお、岐阜大会で新しく広告協賛をいただきました「(株)はらく」さんはユニバーサルデザインのはさみや爪きり等を扱う会社だそうです。障害を持っていても、こんな風にとっても可愛いらしい道具を使って、尚且つ自分で出来る事が増えたら、子ども達もちょっと嬉しいですね。今回の会報にも情報提供として掲載致しましたので、お役立てください。
《事務局長 佐竹京子》